

デジタル人材育成強化

県職能計画 生産性・競争力向上へ

県内の人材育成や、職業能力開発の指針となる「県職業能力開発計画」に関して、県は来年3月をめどに策定予定の第11次計画で、デジタル時代の新たなスキルの習得に向けた「リスキリング」(学び直し)の推進を盛り込むことが13日、分かった。県内の職業能力開発校の教育課程に「ITリテラシー」などを取り入れるほか、「デジタルトランスフォーメーション(DX)」に特化した学科の創設も検討する。デジタル分野の人材育成を推進し、生産性向上や競争力の強化を目指す。

県の職業能力開発計画で、リスキリングの推進を盛り込むのは初めて。県は次年度以降の沖縄振興計画でDXや脱炭素化など、これまではなかった新たな成長分野を柱として盛り込む見通し。

新分野の労働需要に向けて、中長期的な視点に立った教育プログラムを構築し、提供する必要があると判断した。

県商工労働部の関係者によると、DXに特化した学科は、県が外部委託

で実施している職業能力

訓練の一部で創設することを検討しており、次年度以降にニーズ調査などを実施する。県幹部は「デジタル化が進む中で企業が新しい仕事に対応するためには、社会全体で考えなければ遅れていつてしまう。(リスキリングを盛り込んだ)計画に基づき、さまざまな事業展開を進めたい」と述べた。

第11次県職業能力開発計画の素案は、教育訓練のための休暇制度を導入する企業への支援や、職業訓練への費用助成などを盛り込む考え。今月下旬以降にパブリックコメント(意見公募)を実施し、来年3月下旬の策定を目指している。

デジタル技術で産業に変革をもたらすDXの推進によって人工知能の普及や自動化が進み、多くの人間の仕事が機械へと

取って代わる可能性が指摘されている。同時に、デジタル社会で新たに生まれる職業や、仕事の進め方が大きく変わる職業

もあり、世界各国も新たな技術を取得する「リスキリング」の重要性に目を向けている。

(池田哲平)

第11次県職業能力開発計画策定スケジュール

2021年11月25日

第1回県職業能力開発審議会の開催

- ・審議会への諮問
- ・計画素案の説明・審議

12月中旬～1月中旬

パブリックコメント(意見公募)の実施

22年1月中旬～2月中旬

第11次県職業能力開発計画(案)の審議

3月中旬～下旬

計画案を知事へ答申
計画の策定